



2018 年度学術交流研究事業

日本女子大学 文化学会講演会

関西学院大学社会学部教授・北海道大学名誉教授

桑山 敬己 氏

「異文化体験から学ぶもの：日本・欧米・東アジアの現場から」

本学文化学会は、関西学院大学教授・北海道大学名誉教授 桑山敬己(くわやま たかみ) 氏を講師に迎え、下記のとおり講演会を開催いたします。

記

【日時・場所】 2018年6月23日(土)13:00~14:30

日本女子大学西生田キャンパス B 棟 10 番教室

入場無料・事前申し込み不要

【主催】日本女子大学人間社会学部文化学科・日本女子大学文化学会

【講師】関西学院大学社会学部教授・北海道大学名誉教授 桑山敬己氏

【講師略歴】東京外国語大学大学院地域研究科 アジア＝太平洋コース修了。

カリフォルニア大学大学院ロサンゼルス校人類学部 博士課程修了。

北海道大学文学研究科教授を経て、現在、関西学院大学社会学部教授。

【演題】異文化体験から学ぶもの：日本・欧米・東アジアの現場から

【講演の概要】

桑山敬己氏は現代日本の文化人類学を代表する研究者の一人です。2004年に著した“Native Anthropology: The Japanese Challenge to Western Academic Hegemony”は、文化人類学における英語中心主義的なシステムを「知の世界システム」と呼び、その中で周縁化された現地人(Native)とそのシステムの関係性を日本の文化人類学者・学会、文化人類的研究を例に分析した、英語圏でも話題になった書です。

この文化の表象や異文化理解をめぐる諸問題を、自らのアメリカ留学とアメリカでの教員生活などの経験もからめながら、分かりやすく講演していただきます。